

活動名	DVなどの暴力被害者が自ららしく生活できるよう地域で行う支援「暴力被害女性と子どものための居場所と地域ネットワークづくり」	団体名称	特定非営利活動法人 ウィメンズ・エンパワーメント金沢プロジェクト
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	②児童虐待や性暴力などの被害児童・社会的養護を必要とする子どもの支援
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果	■各スケジュールごとの活動内容
<p>DVなどの暴力被害児童と母親が安全で安心できる居場所として、「母と子のおしゃべりサロン」は徐々に定着し継続参加者も増えている。参加者とWEKとのネットワークは構築されつつあり、サロンにおいて提供している「暴力防止心理教育各プログラム」や「一緒にランチ」等の事業はそれぞれの事業目的通りの成果を得ている。</p> <p>しかしながら、サロンを拠点としていることから対象人数に限界を感じ、居場所づくりとしてのサロンと他の事業との並行実施について、分離実施が今後の課題である。</p> <p>一方、暴力防止プログラム等の体験ワークショップは、「暴力防止」を前面に出すことで、特定の人の問題と思われがちであるため、名称変更等も検討しながら幅広く多くの方に「怒りと暴力」について体験していただけるワークショップを提供するよう事業の見直しを図っていく。</p>		<p>2017.9～ 2017.11 2017.12 2017.12 2018.5～ 2018.4～ 2017.9～ 2017.9～ 2018.1～ 2017.8～</p>	<p>2018.8 2018.8 2018.8 2018.8 2018.8 2018.8 2018.3 2018.8 2018.8 2018.8 2018.8</p> <p>母と子のおしゃべりサロン【継続】 サロンでワークショップ＆ランチ【事業見直し】 母と子の暴力防止心理教育体験ワークショップ【事業見直し】 母親のためのエンパワーメント講座【継続】 〃 ころのケア講座【継続】 支援者養成講座（スタッフ研修を兼ねる）【継続】 暴力防止心理教育プログラム実践研修【継続】 電話・メール面接相談（DV・セカラ・子育て・コミュニケーション等）【継続】 面会交流支援（連絡調整・受け渡し、同行支援）【継続】 ニュースレター（年4回発行）【継続】 メールマガジン（毎月1回配信）【継続】</p>
■活動目標	暴力被害母子が地域での孤立を予防し、安全で安心できる感覚を取り戻すとともに地域における当事者の繋がりや支援ネットワークを構築する。		
■長期成果	<p>・精神的に傷ついている母子が、自分たちを理解してくれる人に出会い、大切にされる存在であることを実感しながら、安全な環境で安心して暮らすことができる。</p> <p>・暴力を許さないという気持ちが地域に醸成され、暴力と差別のない地域づくりのためのネットワークが生まれる。</p>		
活動風景			
			
「母と子のおしゃべりサロン」スタッフと遊ぶ子どもたちと、子育て不安の話をする様子	「家庭や地域における暴力防止プログラム体験講座」子どもと母親が体験する様子	夏休み「サロンでランチ」流しそうめんを楽しむ子どもたち	
■得られた成果と今後の課題	■受益者や地域社会の変化	■得られたノウハウの共有・発信	
<p>（得られた成果） 「母と子のおしゃべりサロン」は、継続家族にとっては、安心できる居場所となり、支援者との関係も構築されつつある。</p> <p>暴力を受け辛い思いをしながらも、夫（父親）と暮らし続けている母子の参加もあり、DVや児童虐待の不安を抱える母子のケアや、自立支援エンパワメントにもつながり、サロンの継続は大きな成果を得ていると考えている。</p> <p>（今後の課題） 継続利用者とWEKとのネットワーク構築や、利用者相互が顔見知りになり安心できる関係性は構築される一方で、サロンを居場所として認識していただく経験をさらに多くの方（居場所を必要としてい方）にしていただき、地域における当事者のネットワークを広げる工夫が必要と考えている。</p>	<p>・サロンに参加している当事者の母親たちが、エンパワーメント講座に参加されたり、「家庭や地域における暴力防止プログラム体験講座」に参加されるなど、前向きに歩み始めている。</p> <p>・また、当団体スタッフとの信頼関係が構築され、まだ離婚が成立していない母子家庭の子どもと父親との面会交流について、面会交流支援の利用相談等に発展しているケースもある。</p> <p>さらに、利用者の方が家裁で当団体との関係をお話されることで、家庭裁判所において母子関係の安定と安全な面会交流のためのために、当団体の存在やサロン等でのネットワークの有効が評価されつつある。</p>	<p>・ひとり親家庭の多くの子どもたちは、孤食や個食、外食等々、家庭での調理や食卓を囲んで団らんすることが少ない。孤食が続くと栄養が偏るだけでなくコミュニケーションの欠如が顕著になり、社会性や協調性のない人間に育つ恐れがあると言われており、月に1回程度のランチであっても、信頼関係が構築された安全な関係性のもとで大勢で食卓を囲む経験は、子どもの情緒に大きな影響を及ぼしており、今後食事つき寺子屋の開催へと事業を発展していきたいと考えている。</p> <p>・食事における親と子の関わりは、何気ない言葉かけの中で虐待傾向のある母親の言動を見つけ、緩やかな支援や母子のコミュニケーション能力の向上にもつながり、子どもの健全な成長に大きく役立つことを確信することができた。堅苦しい「親育て」ではなく、一緒に食卓を囲むアットホームな中での見守りの重要性を発信していく。</p>	
〒 921-8172 石川県金沢市伏見新町255-907 特別非営利活動法人ウィメンズ・エンパワーメント金沢プロジェクト HP: https://wek-project.jimdo.com		助成金額 500,000円 助成期間 H29.9.1～H30.8.31	

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。